

田舎モダン



開成町

kaisei town

# 議会だより



米栽培体験学習塾

力を合わせて稲刈り  
わーい！収穫だ

## 9月定例会議 No.190

平成29年11月1日発行  
神奈川県足柄上郡  
開成町議会

- 平成28年度決算 ここをチェック 2～7
- 町政を問う！  
一般質問に10名が登壇 8～13
- 徳島県から視察来町 13
- 7月、9月随時会議審議結果 14
- 現在調査中！ 委員会レポート 15

平成28年度歳入・歳出決算額

(△は減)

会計区分	歳入決算額	前年度対比	歳出決算額	前年度対比
一般会計	55億9,116万円	7.4%	53億530万円	8.7%
特別会計				
国民健康保険特別会計	20億1,920万円	5.2%	18億8,310万円	6.9%
下水道事業特別会計	6億55万円	△3.2%	5億7,284万円	△4.3%
介護保険事業特別会計	10億7,768万円	6.2%	10億1,611万円	6.6%
給食事業特別会計	8,694万円	0.6%	8,645万円	0.5%
後期高齢者医療事業特別会計	1億8,234万円	13.0%	1億7,889万円	12.8%
水道事業会計	3億947万円	7.7%	3億6,527万円	3.3%
総額	98億6,734万円	6.1%	94億796万円	7.0%



町税等徴収率の向上

町税の徴収等歳入の確保に関しては、税務窓口課を中心に関係する6課1室が徴収対策推進会議を構成し、県との連携や他町村との情報交換に努めるなど、町を挙げて取り組み、現年度徴収率の改善が図られました。

平成28年度決算  
ここを



平成28年度決算の中で、議会が目した主な事業等を紹介します。



プレイパーク事業

子どもたちが自由に思いのまま遊ぶことができる場所を提供するプレイパーク(冒険遊び場)事業は、中家村公園、金井島緑陰自由運動広場、屋敷下第1公園の3か所、計4日間実施し、子どもたちとその保護者など300人を超える参加者でにぎわいました。



ぷらっと・かいせい

開成駅東口の「ぷらっと・かいせい」内に、町内2か所目となる子育て支援センターを開設しました。乳幼児とその保護者の、遊びを通じた交流だけでなく、栄養士や保健師などによる相談日を設けるなど、子育て環境の充実を図りました。



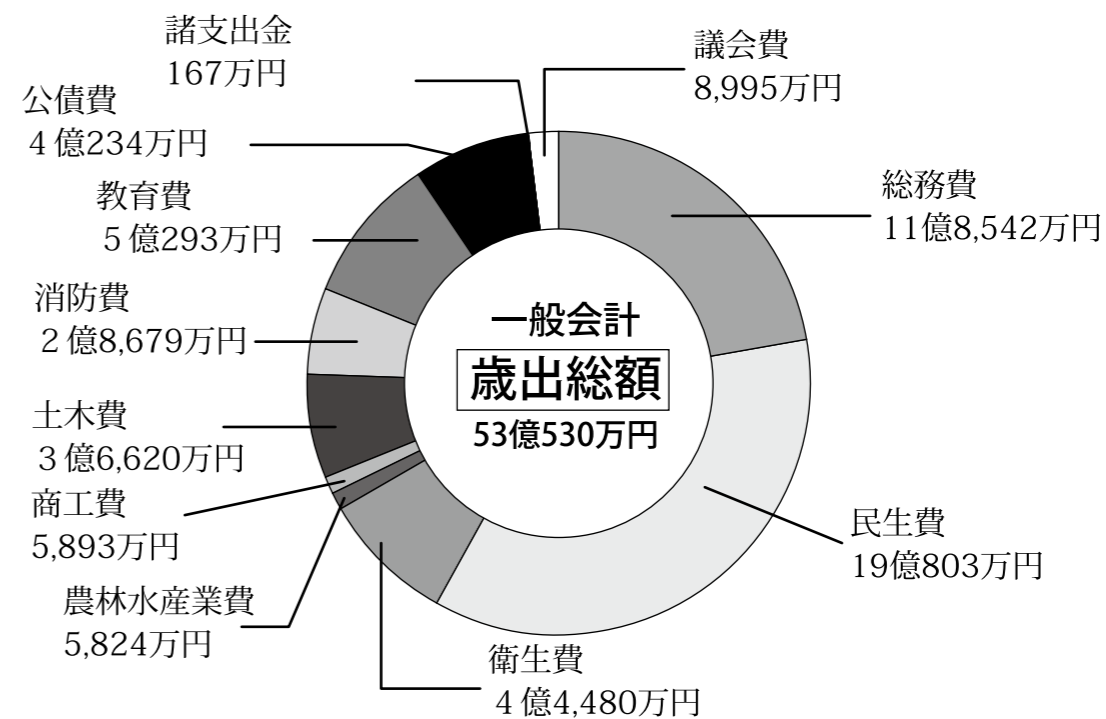
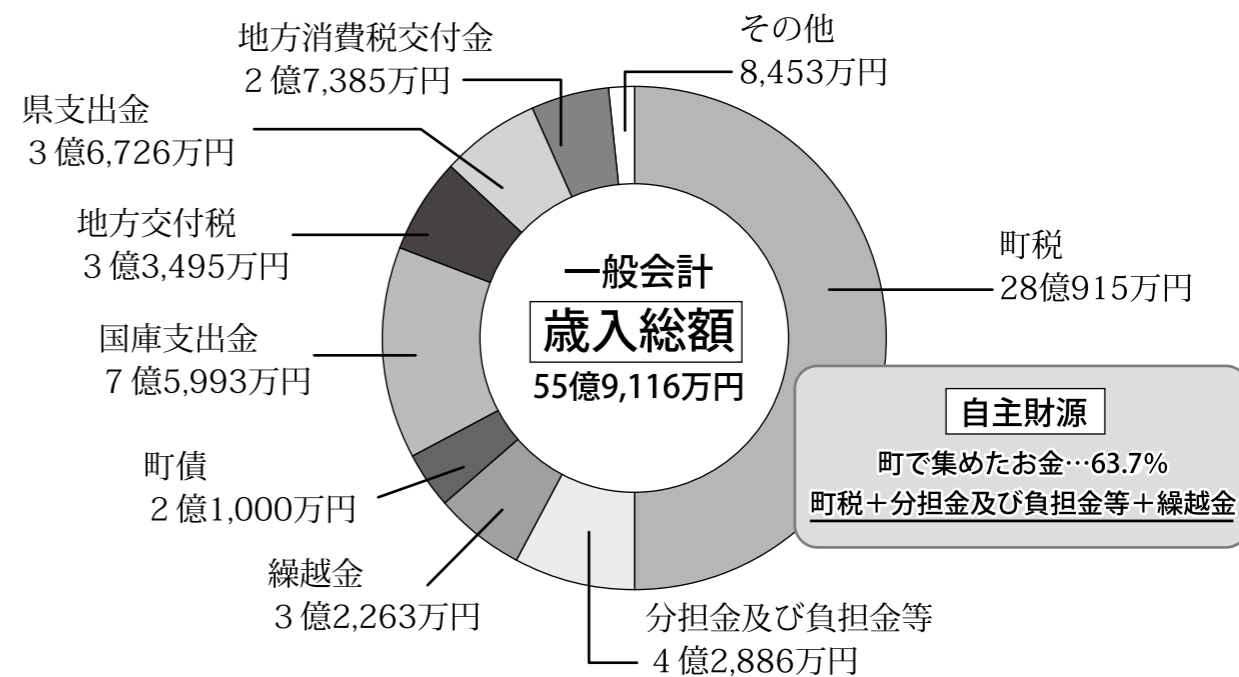
あしがらローカル  
ブランディング推進事業

「あしがら」エリアの地域イメージの向上・発信を行うため、「千年の湧水あしがら水源」をブランド・コンセプトに、小田急トレインビジョンでのPR動画の放映やポスターの掲示などを実施しました。



未病いやしの里  
構築事業

保健センターへの未病見える化コーナーの設置及び活動量計システムを活用した健康プログラムの構築を行いました。また、コンディショニングをテーマにしたスポーツ講座等を開催しました。



# 質疑



# 平成28年度 決算審議

平成28年度の一般会計及び各特別会計、企業会計決算について、9月定例会議において審議を行いました。審議は町政全般にわたり、数多くの質疑がありました。その中から、いくつかをお知らせします。

## 経常収支比率から見る 町の財政状況は

**問** 経常収支比率が83.3%で、ここ数年は80%前半であるが、町はどう捉えているのか。  
**答** 近年は80%前後であり、この数字であれば、それ以外に使えるお金があるので、この数字を今後も推移していきたい。今までは県内で三番目だったが、平成28年の速報値では一番良い数字であり、町の財政運営は良好な状況にある。今後、今の状態が続いていくように自主財源等の確保に努めていく。  
※財政構造の弾力性を判断する指標

## 産業集積促進事業費

### 足柄産業集積ビレッジ構想の現状は

**問** 宮台北地区の事業化に向け、整備プログラムへの検討や地権者との合意形成の取り組みの状況は。  
**答** 昨年5月に南足柄市と開成町で推進協議会を設立した。事業内容の検討や地権者の質問に答え、勉強会等を3回開催した。宅地と農地では事業に対する考え方や状況が違っているので、その対応をした。工業系では企業誘致に向けた取り組みとして、工業立地について、資金5千万円以上で、東京の東側と神奈川県内の約4千企業にアンケートをとっている。

## 子育て環境充実事業費

### プレイパーク事業

#### 今後の展開は

**問** プレイパークを実施した屋敷下第1公園は住宅街の公園なので、子どもや駐車場など課題があったと聞いているが。  
**答** 平成27年度から3年間の区切りで、行政側が中心となって進めている。昨年度は、町内での事業展開の方法の課題を解決するために検証し、今後の運営を住民団体が中心となつて展開していくための課題を中心に検討した。まず、町内に定着させ、最終的には常設化を目指している。今年度は住民団体の基盤を整え、回数が増や住民団体の研修を充実させ、協力していただける方の仲間づくりを積極的に進めている。



プレイパークの様子

## 新庁舎建設後に 町民サービスは向上するのか

**問** 町に適したワンストップサービスなど、執務環境整備の提供方法について調査研究した成果報告は。  
**答** 窓口の現状から、本町に合うサービスの話し合いをした。庁内においてもワーキンググループを作り、今後もワンス



トップサービスの研究を続けていく。

## 地域密着型介護サービス給付事業

### 町の介護サービスの現状は

**問** 要介護1から5の方の地域密着型サービスの利用が前年度671件から1507件に増えている。町内で認知症と診断される方が増えているのか。  
**答** 認知症の認定率は、高齢化率と比べて、同様あるいはそれ以上の伸び



である。また、地域密着型サービスがこの近辺に増え、近隣の市町村でも許可を得ればサービスを受けることができるので、行き慣れたところでの利用が増えている。

## 開成町駅前窓口コーナー関係費

### 「ぷらっと・かいせい」の今後の展開は

**問** 「ぷらっと・かいせい」内の子育て支援センター利用者からはどのような意見があったか。また、今後の展開は。  
**答** 開設当初は駐車場の利便性が悪いという意見もあったが、現在は臨時駐車場を整備して対応を図っている。また、食事の時間等のルールを決めているが、運営上の柔軟さを求める声があり、判断が難しく、内容に応じて対応している。



子育て支援センターの様子

## あしがらローカルブランディング推進事業費 千年の湧水あしがら水源のPR効果は

**問** 「千年の湧水あしがら水源」をブランド・コンセプトに、小田急トレインビジョンでの放映やポスター掲示などをした手応えは。  
**答** 小田急線の車両の中では、他の町のPR動画も配信しており、また、電車内の過ごし方も人ぞ



小田急トレインビジョン

れぞれであるが、東京方面の方には新鮮な情報として見ていただけたので、一定の効果はあった。

## 新エネルギー活用促進事業費 小水力発電による町のPRは

**問** 平成28年度に視察等があったのか。また、観光面でのPRは。  
**答** 中国のテレビ局の取材、NPO法人、東京都日の出町、ドイツから留学生の視察等があった。経済面での活用はハードルが高いが、興味を持っている方は多い。環境問



題を考える大会等には積極的出向いてPRやパイプを作っていく、交流人口を増やしていきたい。町単独では難しいので、広域連携の観点も含めてPRに取り組んでいきたい。

# 平成28年度一般会計決算討論

## 賛成討論 - 吉田 敏郎議員 -

歳入においては、町民税が12億1,358万5千円、前年度比9.8%の増で、人口の増加傾向や町内企業業績の好転もあり、個人町民税、法人町民税ともに昨年に引き続き増加している。特に法人町民税では大手企業の業績が良好であったことなどから大幅な増収となった。

固定資産税全体では、ほぼ横ばいの前年度比0.5%増の14億4,344万円となり、町税全体では28億915万2千円で、前年度比4.4%の増となった。

また、寄付金においては大幅な増であり、これはふるさと応援寄付金（ふるさと納税）制度活用の取り組み効果であり評価できる。

歳出においては、人口が増加している町として、民間保育所整備費補助金などの児童福祉費

の充実や開成幼稚園大規模改修に取り組むなど子育て支援関連事業の充実が図られている。

なお、少子高齢化に伴い扶助費が引き続き増加傾向にあるのは不安要素ではあるものの、財政指標をみると、経常収支比率は平成27年度に1.7ポイント下がったのに引き続き28年度も1.0ポイント下がったことで柔軟性が高まったことを始めとして、実質収支比率6.3%、実質公債費比率（3カ年平均値）が8.2%、将来負担比率は55.7%で全体として良好な運営が維持されていると認められる。

全職員が健康で町民の更なる福祉の向上に取り組んでもらうためにも、働き方改革が言われる中、職員の福利厚生により一層の充実が図られる様要望して、賛成討論とする。

## 平成29年9月定例会議議案審議結果

提出	議決日	議案名	審議結果	佐々木昇	山田貴弘	湯川洋治	前田せつよ	石田史行	菊川敬人	下山千津子	和田繁雄	井上三史	星野洋一	吉田敏郎	
町長	9/7	開成町営水泳プール条例を廃止する条例を制定することについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
町長	9/14	決算認定について（一般会計）	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		決算認定について（国民健康保険特別会計）	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		決算認定について（下水道事業特別会計）	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		決算認定について（介護保険事業特別会計）	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		決算認定について（給食事業特別会計）	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		決算認定について（後期高齢者医療事業特別会計）	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		決算認定について（水道事業会計）	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		平成28年度開成町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成29年度開成町一般会計補正予算（第3号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成29年度開成町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度開成町下水道事業特別会計補正予算（第1号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
平成29年度開成町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
平成29年度開成町給食事業特別会計補正予算（第1号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
平成29年度開成町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

★茅沼隆文議長は採決に加わらない。 ○は賛成した者 ●は賛成しなかった者 「除」は除斥 「欠」は欠席

## 9月定例会議議案審議

○開成町営水泳プール条例を廃止する条例  
町営水泳プール施設の老朽化に伴い、当該施設を廃止し、代替の施設を設けないことから開成町営プール条例を廃止する条例の制定。

ここが知りたい!

問 町民プールの廃止に伴い、開成南小学校のプールを夏季開放したが、未就学児が利用できるプールではない。町民プールとしての利用は難しいと考えるが。  
答 今年度はプールフロアを購入し、低学年のお子さんに利用していただけるように開放した。未就学児でもフルフロアを利用できるように、今年度の実施結果も踏まえて考えていきたい。

## 委員会付託

### 「薬害肝炎救済法の延長を求める意見書」の採択を求める陳情

薬害肝炎救済法はウイルスに汚染された血液製剤フィブリノゲンなどを投与され、C型肝炎に感染した患者の救済を目的に2008年に成立しました。救済法に基づく給付金の請求期限が来年1月15日に迫るなか、これまで

救済を受けたのは、1万人超といわれる感染被害者の約2割にとどまっています。感染被害者の全員救済のために救済法の延長を求めます。

### 教育民生常任委員会で慎重審議の結果...

採択を今回で行うか否かについて討議した結果、個々に調査研究などを行った上で、次回の委員会以降に扱うこととした。

## 継続審査

## 9月定例会議 傍聴者の声

どう見えた? 開成町の今と未来

子連れ傍聴が可能なのは大変ありがたいですが、長時間は大人も子どもも辛いです。ネット配信なら場所を選ばず、好きな時間にも聴けます。録画があれば日中働いている家族とも見れます。是非早急に進めていただきたいです。

遠い存在だった議会も、一度傍聴してみると、また次も来てみたいと思うようになりました。最初の一步が出やすい環境づくりを是非お願いします。

町内のスポーツアスリート、団体の活躍が目覚ましく、県・全国・世界規模への出場対応は金銭面でも支援が必要。議会はより町をスポーツ面で振興促進するよう、議会中心に取り組みを強化されたい。

(70代・男性)

(30代・女性)

議会への多くのご意見・ご感想、ありがとうございました。今後の議会活動に反映してまいります。



# 町政を問う 一般質問

※ 一般質問：議員が町の行政について質疑し、町側に答弁を求めるものです。

※ 質問者本人の原稿を、広報分科会委員が議事録に基づき校正しています。

## 目的をもった公有地利用の活用計画を

年間を通じてあまり有効活用されていない公有地をいくつか所有している現状がある。

**問** 公有地は維持管理経費が掛かることから、将来における計画を含め、当面の活用計画等を示す必要がある。

**答** できるだけ早い時期に個別計画をつくって、できれば第五次総合計画後期基本計画の中にも位置付けをして、個別の土地の活用について位置付けを図り、予算化をしていきたい。

**問** 「中部地域」松ノ木河原地区の公有地に、キャンピングカーやレジャー用多目的車等、車中泊で旅行する人の受け入れ施設を民間活用により整備し、観光集客策を考へては。

**答** 市街化区域内の優良な住宅地に隣接しているため、考えていない。  
**問** 車中泊によるペットの同行・同伴避難場所の拠点に。

**答** 調査、検証の結果により、適地であれば柔軟に対応していきたい。  
**問** 各種団体の備品倉庫を集約し、災



山田 貴弘 議員



金井島緑陰自由運動広場

害協定を結び、防災拠点に活用しては。  
**答** 現在は広域避難場所に指定してはいるが、見直しの際には、検討の余地はある。

**問** 「北部地域」金井島緑陰自由運動広場は、幼稚園建設予定地とされている。周辺では、酒造の再生が進められており、瀬戸屋敷に続く観光拠点になると考へるが、駐車場の不足が発生し地域住民に影響が出ると予測する。当面の利用方法として有料駐車場の整備を行っているか。

**答** 幼稚園建設用地として購入をしたが、当面は幼稚園を建設する予定はない。例えば、常設型のプレイパークの用地など、子ども向けの施設用地としての活用も検討していきたい。  
北部地域振興の拠点である瀬戸屋敷の東側駐車場を拡大し、大型バスも駐車できる駐車場を整備する。

## 子どもとその家族が健康で暮らせる環境づくりを



前田 せつよ 議員

国は、昨年12月に成立した改正がん対策基本法で、学校や社会でのがん教育の推進を決定し、さらに、文部科学省は本年度から「がん教育」の全国展開に向けて、3年間に渡って体制づくりを進めてきている。

子どもへの「がん教育」は、本人は勿論、保護者をはじめ家族へのがん検診の推進や健康づくりなどにつながる。また、生命の尊さを家族でも見つめる機会になると考へる。

**問** 「がん教育」における町の具体的な方策は。

**答** 来年1月、開成南小学校の6年生を対象に、公益財団法人がわ健康財団による「がん教育モデル事業」を実施予定で調整を進めている。この授業では、学齢期からがんに対する正しい理解と予防する生活習慣について学び、自らの健康管理、がん患者等への共感や、命の大切さへの理解を深めることを目的に実施される。今後、新学習指導要領に沿って「がん教育」の推

進を考へている。

**問** 前立腺がんの検診に対して医療費助成は、南足柄市を含む1市5町のうち、1市3町が医療費助成をしているが、町の所感は。

**答** 今現在では、町で公費を投入して前立腺がん検診を実施することは考へていない。ただ、今後、国の指針・ガイドラインについて見直しされるといふことなので、動向を注視しながら、検討を進めたいと考へている。

**問** 小児医療費助成制度の適用範囲を中学3年生までに拡大することは必須と考へるか。

**答** より一層、子育て世代の定住促進を進めていく観点から、通院助成の対象を現行の小学生から中学3年生までに拡大する。  
平成30年のできるだけ早い時期から実現できるよう準備を進めたいと考へている。



## スポーツ振興で町に活力を

開成町はこれまで様々なスポーツ推進事業を行ってきた。

近年では、小・中・高校生の活躍が目覚ましく、町に活力を与えてくれている。

今後、国内ではいくつかの大きなスポーツイベントの開催が決定しており、人々のスポーツへの関心が一層高まり、スポーツを取り巻く環境は大きく変わろうとしている。

こうした中、町民のスポーツに対する機運を一過性のものとせず、誰もが生涯にわたりスポーツに親しむことができる施策が必要と考へる。

**問** 文命中学校野球部の顧問の先生と選手たちに褒章を贈る考へは。

**答** 褒章については考へていない。  
**問** 庁用バスの利用を年に複数回できるように出来ないか。

**答** 現在の利用方法が道路運送法の考へ方から適正であるかどうかというような見解が示されている。特にこの運用に問題がないということであれば、



佐々木 昇 議員



文命中学校野球部が全国大会に出場

県大会等、町を代表して参加するような場合には積極的にご利用いただきたく考へている。

**問** 町で行っているスポレクに障がい者の方が参加できるイベントを取り入れる考へは。

**答** 来年は福祉や障がい者の関係団体とも連携をして、スポーツを通じた意識醸成なども図っていくようにしたいと思っている。

**問** 自治体、スポーツ団体、民間企業などが一体となってスポーツによって地域の活性化を図ろうとする組織であるスポーツコミッションを他の自治体との連携も視野に入れて設置する考へは。

**答** 今のところ設置は考へてないが、今後、近隣と連携しながら取り組みを考へていく余地はあると思う。

**問** スポーツ推進計画の策定を。

**答** 第五次総合計画後期基本計画の策定に合わせて検討していく。

## 町民参加事業等の推進体制整備について問う



津子 下山 議員

いつでも、どこでも、誰でもが学習出来るよう町民センターを中心に各種講座、講演会、あじさい塾、出前講座などがある。

**問** 毎年度における講座などの年間スケジュールはどの様に計画し実施するのか。

**答** 生涯学習講座は、年度末に当該年度に実施した受講者アンケートの結果を踏まえ、年間スケジュールを作成し、年度当初に全戸配布している。人材バンク登録者に講師を依頼して、平成28年度実績は、32講座を計72回実施し、受講者は672名である。反省点は、当初44講座を予定したが、12講座が未実施となった。町民のニーズの把握方法の検討を行い、開設を工夫する。

**問** 受講者が集まらなく、12講座が未実施となった原因はなにか。

**答** 生涯学習講座は、最低5名以上の場場合に開催する取り決めがあり、5名に達しなかった。受講者の偏りもある。今後は、町民のニーズを把握したうえ

で実施していきたい。

**問** 講師として教えることが生きがいや、やりがいにつながる視点で取り組みを推進する具体的な計画は。

**答** 団塊の世代が生きがいをもつことに取り組んでいかないと豊かな社会構成にならない。学ぶだけでなく講師として教える喜びを持ってもらう取り組みを考えている。

**問** 開成南小学校では、体育施設だけでなく、生涯学習の場としての一般開放をうたわれていたが今後の利用促進策は。

**答** 主に理科室、音楽室、家庭科室などの利用が少ないことから、生涯学習講座などの各種講座で活用を図りながら、利用拡大につなげていく。



生涯学習講座「親子であそぼうわらべうた」

## 地域防災力の強化策について

町の消防団員の定数減の状況が続いている。近年の気象異常による自然災害は、年々、想像を絶する規模で発生し拡大している。防災・減災へ向けた取り組みを実施するためには、地域防災力の充実強化が不可欠である。

**問** 消防団員の確保について、地域の防災の要である消防団員は、有事においてはいち早く現場へ駆けつけ、被害を最小限に食い止めるわけであるが、全国的に団員数の減少傾向が続いておりまして、当町においても、それは顕著である。現状、96名の団員数には変わりはないのか、町の消防団員数は108名と規定されているが、団員数の確保は難しく感じる。

**答** 3名の方が協議会発足後、入団されて、99名になった。町を挙げて団員を増やしていきたい108名を目指している。

**問** 今年4月に町消防組織強化推進連絡協議会を設立した。自治会、消防団OBで組織する友の会、町内事業所な

どの関係機関が密接に連携して町を挙げて消防団員を確保する体制を構築したが、今後の推進連絡協議会をどのような形で進めていくのか。

**答** 消防団員の確保が大きい、自治会地域の事業所、消防団のOBの方々と町を挙げて防災力を高めていく。そのため、消防団と防災関係機関が顔の見える関係をつくっていく。



町では、消防団員を随時募集中

## どうなるのかマイナンバー制度

**問** マイナンバー制度について一体どうなっているのか、行政の効率化として、住民への行政サービスが向上する、迅速な支援が期待できる等と言っているがメリットは出ているのか。

**答** ICカードの空き領域を活用した効果が制度導入後に図られてPRがあったが、町では、活用を図っていない。



敬人 菊川 議員

## 局地的な豪雨災害への備えを問う



史行 石田 議員

7月5日に発生した九州北部豪雨で、福岡県朝倉市では尋常ではない雨量が狭い範囲に集中し、大量の土砂と流木が中小の河川をせき止め川があふれることよって甚大な被害につながった。

**問** 酒匂川の上流地域で、線状降水帯が多発して表層崩壊が起き、流木や土砂が足柄大橋などの橋脚に大量に流れ込んで、酒匂川が一気に氾濫するとう事態にならないか懸念する声を町民から頂いている。町はどのような問題意識を持っているか。

**答** 先般、小田原市で小山町長が酒匂川の洪水・氾濫や、山が表層崩壊をしたようなケースについて当該町だけではなく、上流から下流域の自治体が一体的に危機感を持って防止をしていく策が必要と講演をされた。また、酒匂川を二級河川から一級河川に格上げして国の管理に委ねるのが望ましいと大井町長も発言されていることから、今後の取り組みとすれば、酒匂川流域の市町村の自治体が協働して県や国に

対して、一級河川に格上げする要望をしていくことがとても大事なことである。

**問** 地震を想定した防災訓練を毎年行っているが、今後は全町的に豪雨災害を想定した防災訓練も定期的に行っていくべきと考えるか。

**答** 防災訓練の想定を水害に変えて全町一斉に行うことは非常に有効と考える。実施について自治会の皆さまの参加が不可欠なので、十分調整しながら進めたい。

**問** みなみ地区にお住まいの方から、防災行政無線の音が聞き取りにくいと声があるとの声をいただいている。

**答** みなみ地区付近には防災行政無線の屋外個局の配置があまりなされていないので、配置について再検討する。



町の横を流れる酒匂川

## 高齢者対策について

人口増加に伴い、若い世代に定着していただくため様々な施策を行っている。一方2025年には超高齢者社会がやってくる。高齢者対策には多くの取り組みを行っているが、安心して住める福祉対策が必要と思われる。

**問** 高齢者の自動車運転免許証自主返納に関する町の施策は。

**答** 自主返納については加齢に伴う身体機能や認知機能の低下により、運転に不安を感じている高齢運転者や運転を継続する意思がなく返納したいという人のために設けられている。松田警察署と連携し制度を浸透していきたい。外出や買い物に行く移動手段がない場合の対策のひとつとして巡回バスを運行している。

**問** 巡回バスを移動の手段として利用とのことだが、行くことが困難な場合、例えば福祉タクシーなど個別の実態に合った施策は。

**答** 今年度から二台体制で運行している。各自治会等で意見を聞きバス停の

場所や増便の要望を取り入れ運行している。タクシー券については、今は障がい者の方に配布している。対象者などこまでかは今後の課題と受け止めている。

**問** 年金で、老人ホームや特別養護老人ホームに入所希望をした場合の支援策は。

**答** 特養入所者の低所得者への支援策として、年金などの収入・資産が一定以下の人に対して自己負担上限額を設け、超えた居住費・食費の負担額が特定入所者介護サービス費として介護保険から支給される。

**問** 開成町高齢者保健福祉計画介護保険事業計画の第7期に向けての考えは。

**答** 第7期は第6期を踏まえ、2025年を見据え、地域包括ケアシステムの着実な構築に向けた取り組みを進めることが基本となっている。



洋治 湯川 議員



町巡回バス

小田原市・南足柄市「中心市のあり方」に関する任意協議会終了を受けて開成町への影響を問う



井上 三史 議員

8月10日に小田原市・南足柄市「中心市のあり方」に関する任意協議会が終了し、新市のあり方を含む報告書を取りまとめた。2市の動向は県西地域2市8町の再編につながりかねないだけに、開成町としても注視していくことが重要である。

**問** 2市が合併の方向に動いた場合、開成町にどのような影響が出るか、また、その影響にどう対応するのか。

**答** 2市協議の結果によって、これまでの開成町の町政運営の方向性を変えることはなく、今後においても2市の動向に巻き込まれず、冷静に対処していく。将来に向けて全国的に人口減少高齢化が進む中で、基礎自治体として行財政基盤を整え、安定的に行行政サービスを提供し、効率的・効果的な施策展開を図っていくことは、開成町においても大きな課題である。足柄上郡5町における共同歩調を基本として連携の拡大や深化に向けた協議・調査等の

取り組みを進めていきたい。  
**問** 足柄上郡5町の枠組みでの研究会の進捗状況は。

**答** 本年5月には、足柄上郡5町の副町長、広域担当課長による協議会の名称をあしがら地域創生連携推進協議会として規約等を整備し、改めて運営を開始した。協議会においては、あしがら地域広域ビジョンの策定、新たな広域連携事業の構築、2市協議への対応策の検討の3項目を業務内容とし、あしがら地域の将来像を上郡5町で共有するため「あしがら」としての指針・ポリシーを整理し、あしがら広域ビジョンの作成を重要項目として掲げている。

**問** 協議会の会長はどこが務め、事務局はどこに置かれたのか。

**答** 会長および事務局はともに開成町である。



中心市のあり方に関する協議結果をまとめた冊子

防災(減災)対策の現状と今後の深化の方針について問う

平成28年3月に「開成町地域防災計画」を修正しているが、その実効性を改めて検証すべき。一人の犠牲者も出さないことを目指す防災(減災)計画とすべきである。

**問** 「地域防災計画」は毎年検討を加え、必要な修正をするがあるが本年の実績は。

**答** 計画の全体的な対応の流れを日ごろから習熟しておくがあるがその状況は。

**問** 今年度も開成町防災訓練を実施した。その結果を踏まえて、検討を加え、次年度への見直しを行っていく。地域防災計画の習熟については、開成町防災訓練の際に災害発生以降の活動の流れについて、町民総ぐるみで内容の習熟に努めている。

**問** 毎年実施される防災訓練への町民参加率の向上施策は。特に要援護者等についての計画は。

**答** 平成25年に内閣府からされた



和田 繁雄 議員

「避難行動要支援者の避難行動支援に関する取組指針」により、個別計画の様式等について検討し、平成28年度から実施をしている。

**問** 避難の長期化に備え避難所運営、町民の健康維持の施策は。

**答** 福祉会館を模範的に避難所に見立て、避難所運営時における感染対策や健康指導の手順を再確認したところである。

**問** 被災地にて、ボランティアでマツサージをしている組織があるが、エコノミクスクラス症候群への対処とか、いろいろな経験を持っている組織との協定はどうか。

**答** 避難者の方の健康管理について、非常にそれは有効な手段であると考えられる。そのサービスの提供の方法、また協定の締結の方法など、その事例を研究していく。



各自主防災会の訓練の様子

商工振興に対する施策を問う



星野 洋一 議員

商工業者は、地域の経済を支える極めて重要な存在であり、その活力を最大限に発揮させることが必要不可欠である。厳しい経済情勢の中で地域経済を支える中小企業の活性化を図るためには、経営環境の変化に対応した事業展開の支援が求められている。

**問** 開成町商工振興会会員数は、平成17年の255人が平成27年には190人が、平成28年には38人になっている。この現状に大変危機感を感じているが、町はこれをどのように捉えているのか。

**答** 商工振興会会員数の低下というのは、そのとおりだと思ふ。会員数の増加施策は、町としても、今後検討していくかなければならないと考えている。

**問** 後継者の確保、育成が課題となっていることから、町としても日頃から足柄上商工会と連携して、小規模事業者の活動を支援しているとのことだが、どのような支援を行っているのか。

**答** 町の支援として、中小企業者に運

転資金及び設備資金等の融資を行っている。また、資金を受けた方に対する信用保証料について、全額の補助に取り組んでいる。

**問** 現状、開成ブランド認定はどのようなになっているのか。

**答** ブランド認定を4回実施してきた。その中で現在16品目の開成ブランドの品物がある。今後、開成ブランドをどのように活用していくのかを今年度中に進めていきたいと考えている。

**問** 瀬戸屋敷のイベントの交通問題、町の巡回バスを使用して、交通手段としてなり得ないか。

**答** 社会福祉協議会との調整もあるが、今後検討していきたい。



開成町ブランド認定審査会

視察来町

徳島県三好市議会

本町議会の「議会改革の取り組みについて」を視察するため、10月10日に徳島県三好市議会が来町されました。

三好市は、平成18年3月1日に4町2村が合併し誕生しました。四国のほぼ中央に位置し、北は香川県、西は愛媛県、南は高知県に接しています。

市の90%近くが山地によって構成され、中央部を吉野川が横切り、大歩危峽や紅葉の名所・竜ヶ岳高峰・剣山といった豊かな自然がある。また、阿波踊りや祖谷平家まつり、源平雪合戦などのイベントが開催されています。「自然が生き活き、人が輝く交流の郷」とキャッチフレーズに、交流と連携の拠点を目指しています。

三好市のデータ	
人口	27,088人
面積	721.42km <sup>2</sup>
市の木	もみじ
市の花	さぎそう
市の鳥	めじろ



三好市議会議会運営委員会の方々

当日は、本町議会のこれまでの議会改革の取り組みと、①日曜議会 ②議会報告会 ③通年の会期制 ④今後の議会改革の取り組みについて、説明しました。

その後の質疑では、三好市議会から議会報告会についての質問があり、報告内容や住民への回答、当日の議員の役割などに関心を持たれていました。

また、三好市は人口が減っているから市民から議員定数の削減をしてほしいとの意見があり、本町議会が議員定数を削減した経緯や削減後の課題はあのかなどを熱心に聞かれてました。

# 現在調査中！ 委員会レポート



**総務経済 常任委員会**  
～所管事務調査項目～  
町営住宅のあり方について

委員会では、町営住宅のあり方を主として、現状分析、町民への供給等を調査研究し、有効的な町営住宅運営の可能性を検討しております。

6月に四ツ角町営住宅、7月には河原町町営住宅の現地視察を行い、建物、室内（リフォーム後も含む）や周辺環境の状況を確認しました。また、四ツ角団地住居者移転スケジュールや開成町町営住宅長寿寿命化計画を担当部局である財務課から説明を受けました。

今後は12月定例会議で、調査結果を町へ提言できるようにまとめたいとします。



河原町町営住宅を現地視察

## 総務経済 常任委員会

～所管事務調査項目～  
町営住宅のあり方について



委員長 佐々木 昇

**教育民生 常任委員会**  
～所管事務調査項目～  
通学路の選定等について

委員会では、通学路選定において、現状での課題の整理を行い、改善策等についての検討をしております。

7月に、登校時間帯、下校時間帯の通学路危険箇所現場視察を行い、8月には、不審者に絡む通学路の危険箇所を選定し、17箇所の現地視察を行いました。今回は担当部局である、教育総務課、環境防災課に所管事務調査項目に関して説明を求め、調査研究してまいります。



不審者情報を基に現地視察

## 教育民生 常任委員会

～所管事務調査項目～  
通学路の選定等について



委員長 前田 せつよ

**新庁舎に関する調査特別委員会**  
～委員会開催状況～

議会では、町が進める新庁舎建設の計画について、全町的な視野に立って議論を重ね、継続的に調査研究を図るため、全議員（議長を除く）で構成する「新庁舎に関する調査特別委員会」を設置し、調査活動を行っております。

第11回と第12回の委員会では、新庁舎の構造や日本の公共施設で初となるZEB庁舎の検討、新庁舎建設スケジュール、業者の選定方法等の説明を受けました。

第13回の委員会では、議場に導入予定のシステムについて委員間討議を行った。

## 新庁舎に関する調査特別委員会

～委員会開催状況～



委員長 吉田 敏郎

### 「議会改革検討委員会」が設置されました！

議会及び議員活動の活性化と充実を目指し、8月28日に議会改革検討委員会を発足させました。議長を除く全議員が議会改革に取り組んでまいります。進捗状況は議会だより等でお知らせいたします。

委員長 吉田 敏郎  
副委員長 下山 千津子

### 補正予算

○平成29年度一般会計補正予算（第2号）  
文命中学校野球部全国大会出場に伴い、野球部応援実行委員会へ補助するため補正。

文命中学校野球部全国大会  
出場に対する補助

### 7月随時会議

**問** 全国大会出場を町が全面的に援助することは評価をしているが、援助する成績に基準はあるのか。  
**答** 部活動費の範囲内で補助をする基準がある。今回のように全国大会出場で費用がかかる場合は学校から相談があり、特別な措置が必要となってくる。



### 平成29年7月随時会議議案審議結果

提出	議決日	議案名	審議結果	佐々木昇	山田貴弘	湯川洋治	前田せつよ	石田史行	菊川敬人	下山千津子	和田繁雄	井上三史	星野洋一	吉田敏郎
町長	7/26	平成29年度開成町一般会計補正予算（第2号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

★茅沼隆文議長は採決に加わらない。 ○は賛成した者 ●は賛成しなかった者 「除」は除斥 「欠」は欠席

### 補正予算

○平成29年度一般会計補正予算（第4号）  
9月29日に衆議院が解散となり、10月22日に衆議院議員総選挙を実施するための必要経費と、開成町グリーンリサイクルセンター破砕機修繕工事を補正。

①衆議院議員選挙に伴う必要経費  
②グリーンリサイクルセンター破砕機修繕工事

### 9月随時会議

**問** これから搬入量が増える時期になるが、破砕機がない間も受け入れは可能なのか。  
**答** 選定枝は通常通り受け入れ、施設内にある熟成槽に溜めていく。年明けから搬入量が減るので、新しく購入した破砕機を使って処理していくことを考えている。



### 平成29年9月随時会議議案審議結果

提出	議決日	議案名	審議結果	佐々木昇	山田貴弘	湯川洋治	前田せつよ	石田史行	菊川敬人	下山千津子	和田繁雄	井上三史	星野洋一	吉田敏郎
町長	9/29	平成29年度開成町一般会計補正予算（第4号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

★茅沼隆文議長は採決に加わらない。 ○は賛成した者 ●は賛成しなかった者 「除」は除斥 「欠」は欠席



## 各種団体の皆さん 議会と懇談会をしませんか！

開成町議会では、議会に対する要望の集約や議会活動の充実とご理解を図るため、町内の各種団体の皆様との懇談会を開催しています。この懇談会は随時受け付けています。開催日程、場所、懇談のテーマなどご相談させていただきますので、お気軽に議会事務局までご連絡ください。

11月には開成町社会福祉協議会と懇談会を行う予定です！



## 議会の動き

### 8月

- 1日 ●広聴分科会
- 4日 ●足柄上郡議長会定例会
- 18日 ●全員協議会  
●総務経済常任委員会  
●新庁舎に関する  
調査特別委員会
- 28日 ●議会運営委員会  
●臨時全員協議会  
●広報広聴常任委員会
- 29日 ●教育民生常任委員会

### 9月

- 5日 ●9月定例会議(～14日)
- 7日 ●教育民生常任委員会
- 15日 ●議会運営委員会  
●広聴分科会
- 20日 ●全員協議会  
●広報広聴常任委員会  
●議会改革検討委員会
- 27日 ●西部清掃組合委員会  
●総務経済常任委員会
- 29日 ●議会運営委員会  
●9月随時会議  
●新庁舎に関する  
調査特別委員会

### 10月

- 2日 ●足柄上郡議長会定例会
- 3日 ●広報分科会  
●議会改革検討委員会
- 10日 ●広聴分科会
- 11日 ●徳島県三好市議会視察受入
- 13日 ●教育民生常任委員会
- 18日 ●県外行政視察(18・19日)  
(北海道幕別町・浦幌町)
- 20日 ●全員協議会  
●広報広聴常任委員会  
●議会運営委員会
- 24日 ●足柄上郡衛生組合定例会
- 25日 ●新庁舎に関する  
調査特別委員会
- 26日 ●議会報告会・意見交換会(円中)
- 26日 ●議会報告会・意見交換会(榎本)
- 30日 ●県西部広域消防運営協議会

今年の夏は、中学生、高校生の活躍が目覚ましく、開成町にとって熱い夏になったと感じております。その中の一人である大菅生高校野球部主将として、甲子園ベスト4まで勝ち進んだ小玉佳吾君が当議会へ報告に来てくれました。貴重な体験談を話していただきました。

このような若い世代をはじめ、幅広い世代の方々の声を町政に反映させるため、町民参加型の開かれた議会を目指し、8月に「議会改革検討委員会」を設置いたしました。

これからも、町民の皆さま方とともに明るい未来に向けたま

## 編集後記

ちづくりに取り組んでまいります。(佐々木)



小玉佳吾君を囲んで

委員長 井上三史  
副委員長 下山千津子  
委員 佐々木 貴弘  
委員 山田 貴弘  
委員 菊川 敬人  
委員 星野 洋一

## 議会を傍聴しよう!



12月5日(火)開催予定

## 12月定例会議

多くの方の傍聴をお待ちしております。

詳しくは議会事務局まで  
お気軽にお電話ください

TEL: 84-0323